

応用情報学連続講座

- 情報学で何ができるのか -

「情報」は、水、電気、ガスなどの生活インフラについて重要な社会インフラの一つとなっています。さらに、今後も情報学における成果は、ますます社会で活用されることは間違いありません。本講座は、高校生を対象として、情報分野の有用性を知ってもらうことを目的に、それぞれの話題を易しく解説します。今回は、「アプリ開発」、「エネルギー問題」、「騒音制御」、「インターネット」についてのお話です。本講座は連続講座ですが、希望する講義のみの受講もできます。

日程・講師（県立広島大学 地域創生学部 情報学科教員）	
第1回 7月11日（土） 10:00～11:30 宇野 健 准教授	第2回 8月1日（土） 10:00～11:30 重安 哲也 教授
第3回 8月22日（土） 10:00～11:30 肖 業貴 教授	第4回 9月12日（土） 10:00～11:30 陳 春祥 教授

※講座の詳細については裏面をご覧ください。

受講対象者

高校生
 定員：40名（先着）

受講料

無 料

開催方法

対 面

会 場

県立広島大学
 広島キャンパス1175講義室
 （広島市南区宇品東1-1-71）



申 込

URLまたはQRコードから申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。
 【申込URL】 <https://forms.office.com/r/RXQKRzAbUB>

申込締切：7月3日（金）

※申込締切日以降にメールで受講案内をお送りします。
 ※本学からのメール（@pu-hiroshima.ac.jp）や
 添付ファイル付のメールを受け取れるよう、設定のご確認をお願いいたします。



◆ 講座詳細 ◆

全4回 ①7/11 (土) ②8/1 (土) ③8/22 (土) ④9/12 (土)

第1回 アプリ開発入門

7月11日 (土) 宇野 健 准教授

アプリ開発と言えば、プログラミングと考える人が多いです。確かにプログラミングは情報学の基礎であり、非常に重要であることは間違いありません。しかし、アプリ開発においては、プログラミングは数ある工程の1つにしかすぎません。そこで、この講座では、アプリ開発とプログラミングの正しい関係について理解してもらうことを目的とし、実際に本学の学生が開発したアプリを紹介します。

第2回 EV・再エネ・Dxで変化する私たちのエネルギー事情

8月1日 (土) 重安 哲也 教授

脱炭素化による地球温暖化対策の推進が強く求められています。中でも、脱炭素電源の確保は重要な課題ですが、近年のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は電力需要を押し上げると予想されており、脱炭素化の見通しをより困難にします。今回の講座では、日本や世界における電力需要や脱炭素電源の導入などの状況について概観します。また、関連する取り組みとして、EVや再生可能エネルギーなどの活用事例などについて紹介します。

第3回 AIで合成した音で雑音を消せるか？

8月22日 (土) 肖 業貴 教授

近年EVなどへの応用を目指した能動騒音制御（Active Noise Control: ANC）技術は先端的AIの一つとして大変注目されています。本講義では、まず、ANCの原理について説明し、いくつかの応用を紹介します。また簡単なシミュレーションを通してANC技術の性能と有用性を示します。

第4回 インターネットを旅する IPパケット ～データはどうやって届くのか～

9月12日 (土) 陳 春祥 教授

私たちが毎日使うインターネットでは、文字や画像、動画が「IPパケット」という小さな単位に分かれて送られています。本講義では、情報の小包である「IPパケット」を主人公に、送信端末から出発し、ルータやネットワークを経由して目的地に届くまでの流れを、身近な例や図を用いて解説します。

※本講座は連続講座ですが、希望する講座のみの受講も可能です。

お問合せ先：県立広島大学 地域連携センター ☎：082-251-9534

✉：kouza@pu-hiroshima.ac.jp